

講評を終えて

このプロジェクトがスタートして7年、正式名称が「ミラマガ☆」となってから5冊目。その中で、自分の力で1本のマンガを仕上げるといふ作業、そしてそれが印刷されてみんなの目に触れるという経験は、とてつもなく楽しく、しかし頭を悩ませるものだったに違いありません。

小学生の時に初参加、今回まで連続参加された方の「この6年間で描く大変さ、話の構成、絵の魅せ方、そしてマンガを描く楽しさと数えきれないほどのことを学ばせてもらいました」というあとがきを読んで、思わず目頭が熱くなったりもしました。皆さん、どんどん成長されてきたことが見て取れます。「寝ている間に見る夢」と「将来の夢」の2種類の夢をきちんと使い分けて、マンガに入れ込むことも自覚的にできていました。

残念ながら、プロジェクトは今回で終了となりますが、この先、参加者の中には、本気でプロを目指す方も出てくると思いますし、我々としてもそれを期待しています。しかし、そうでなくても、どんな世界に羽ばたいていっても、今回経験した「楽しさ」と「大変さ」を忘れずにいてください。そのためにも、時々「ミラマガ☆」で自分の作品を見返してもらえると嬉しい限りです。

(部活代表：江上英樹)

講評者の紹介：『合同会社 部活(ぶかつ)』に所属する4人の編集者(江上英樹、神村正樹、佐藤祐二、その後、片岡稔裕が加入)。「物がたりと物づくり」をキャッチフレーズに、小学館・集英社などの漫画雑誌、さらにはスマホで読むデジタル漫画において、新しい作品作りを手掛けている。

作者の皆さんや読者の方からの感想、「ミラマガ☆」に関するご意見をお待ちしています!メールにて、横手の未来ともにつくる課までお寄せください。お送りの際は、件名に「マガジン感想」もしくは「マガジン意見」とご記入ください。

メールアドレス:miratomo@city.yokote.lg.jp

横手市マンガ活用教育推進事業
横手市ミライの漫画家発掘マガジン ミラマガ☆2026

発行年月日 2026年3月1日

発行者 横手市

編集 一般財団法人横手市増田まんが美術財団

協力 合同会社 部活（江上英樹、神村正樹、佐藤祐二、片岡稔裕）

【お問い合わせ先】

横手市まちづくり推進部 横手の未来ともにつくる課

〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番10号(よこてイースト)

TEL:0182-35-2266 E-mail:miratomo@city.yokote.lg.jp

◎この作品集は、公的事業として発行するもので、営利を目的とするものではありません。
また、掲載作品の他誌及び他媒体への掲載をさまたげるものではありません。

ミラマガアドバイス会を開催しました！

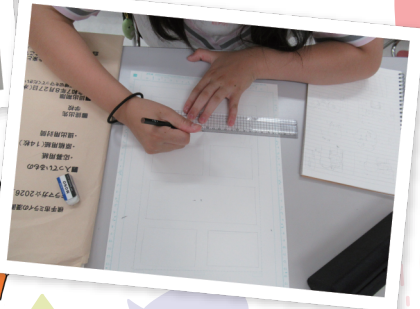
！？ アドバイス会とは……？



- 希望した子が漫画家の先生から直接アドバイスがもらえる会だよ。最大2回参加できます。
- 実際に漫画家の先生が使う道具やスクリーントーンを使って制作ができます。
- 今回のアドバイス会は夏休みに5日間開催しました！



マンガの完成に向けてアドバイスをもらっているね。みんなの完成した作品を読むことができているよ！

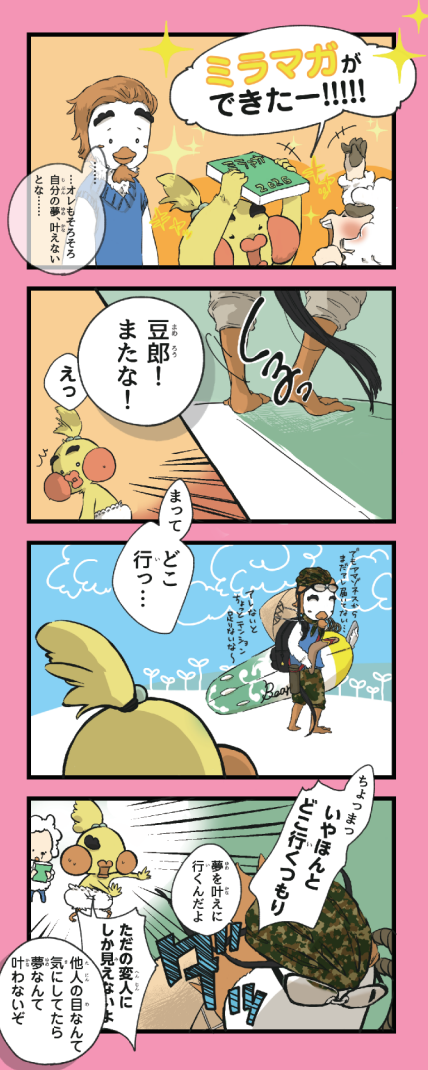


1人1人に合わせて漫画家の先生がアドバイスをしてくれます。漫画家の先生からアドバイスもらえる貴重な機会でした。





横手市



2026年3月1日発行

発行：横手市

お問い合わせ：横手市まちづくり推進部 横手の未来ともにつくる課
(0182-35-2266)